

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 家族亭

コード番号 9931 URL <http://www.kazokutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 入江 一晃

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 後藤 秀明

TEL 06-6227-6030

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,879	—	65	—	71	—	21	—
25年3月期第1四半期	3,705	—	△35	—	△32	—	△51	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 17百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.05	—
25年3月期第1四半期	△7.27	—

(注) 1. 平成25年3月期より決算期を12月31日から3月31日に変更しております。これに伴い、平成26年3月期第1四半期(4月から6月)と、比較対象となる平成25年3月期第1四半期(1月から3月)の月度が異なるため、平成26年3月期第1四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。  
2. 平成25年3月期第1四半期の対前年四半期増減率については、平成23年12月期より連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	10,354	3,348	32.3	476.02
25年3月期	10,326	3,371	32.6	479.16

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,346百万円 25年3月期 3,368百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	—	370	—	380	—	160	—	22.76
通期	15,800	—	450	—	470	—	170	—	24.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期は決算期変更に伴い、15ヶ月の変則決算になっておりますので、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	7,056,200 株	25年3月期	7,056,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	25,355 株	25年3月期	25,355 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	7,030,845 株	25年3月期1Q	7,030,877 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日）のわが国経済は、政府・日銀一体となった金融緩和や財政出動等により円安・株高が進行し、個人消費や企業業績の一部に持ち直しの動きが見られるなど景気回復への明るい兆しが見え始めましたが、外食産業においては、円安により食材価格が上昇し、また、消費者の節約志向は引き続き強く、依然として先行きの不透明感が残る状況となりました。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,879百万円、営業利益65百万円、経常利益71百万円、四半期純利益は21百万円となりました。

なお、当社は前期において決算期を変更（12月31日を3月31日）しております。これに伴い、平成26年3月第1四半期（4月から6月）は、比較対象となる平成25年度第1四半期（1月から3月）と月度が異なることから、文中の前年同四半期比の記載は行っておりません。

各セグメントの概況は以下の通りです。

#### ①外食事業

外食事業を営む家族亭の当期の業績は、売上高2,055百万円、セグメント利益（営業利益）は45百万円となりました。

主な取り組みとして、昨年実施しました創業65周年に関わる各種販促策に引き続き、西日本店舗においてタイガース戦の観戦チケットが抽選で当たる「阪神タイガース応援キャンペーン」の実施や夏本番に向けて「特別天ざる」の打ち出し強化など、積極的な販促策を講じました。

店舗においては4月に「花旬庵 国分寺エル店」をJR国分寺駅前の商業施設「国分寺エル」内に出店いたしました。和モダンの高級感あるイメージとゆったり寛げる店舗環境を実現したことで、オープン以降花旬庵の中心顧客である女性に加えファミリー顧客の来店にもつながり、売上高は好調に推移いたしました。

本部においては、各店舗の管理・推進体制を地域別から立地タイプ別（都心駅施設、郊外駅前施設など）による方法に変更し、販売促進やメニュー開発など店舗特性に応じた施策を実現する体制作りを行いました。

また、お客様の満足度向上を図るため、「QSC推進室」を設置し、専任の担当者が各店舗について150以上の項目をチェックし、店舗に対してすぐに改善を促す仕組みを整備するなど、既存店の営業力強化に向けた取り組みを推進いたしました。

国内の営業網の整備については、直営店舗として新規出店4店（FCからの移行を含む）、閉店2店（FC化に伴う閉店を含む）により106店舗となりました。また、FC店舗は直営店舗からの移行が1店、直営店舗への移行が3店あったことにより96店舗になりました。海外店舗は出店1店と閉店2店により17店舗となりました。

この結果、当期末の店舗数は、直営106店、FC113店（海外FC店含む）、提携店舗6店と前期末より1店舗減少し、合計225店舗となりました。

#### ②製造事業

製造事業の当期の業績は、売上高1,823百万円、セグメント利益（営業利益）は19百万円となりました。

中野食品株式会社においては、成長が見込まれる調理麺について新商品を開発するなど積極的に商品提案を行い、展開を強化いたしました。特に関東において気温が低めに推移したことにより出荷が低調であったこと、また、価格競争の激しいチルド麺については収益性の低い取引を中断したこと等により、厳しい結果となりました。

また、寿製麺株式会社においても、気温低下等の天候不順やコスト増により収益が低調に推移したため、今後は、調理麺の拡充およびデリカ関連商品の新規取り扱いの実施により、売上増加と利益構造の転換を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は10,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加しました。これは主に、借入金返済等に伴い現金及び預金が153百万円、未収入金が47百万円減少した一方で、季節要因による売上変動に伴い受取手形及び売掛金が212百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は7,006百万円となり、前連結会計年度末から51百万円増加しました。これは主に、短期借入金および長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が返済により275百万円減少した一方で、季節要因による仕入増加に伴い支払手形及び買掛金が242百万円、設備投資等により未払金が78百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産は3,348百万円と前連結会計年度末から23百万円減少しました。これは主に、四半期純利益21百万円の計上および配当金35百万円の支払等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月7日の「平成25年3月期 決算短信(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	999,537	846,187
受取手形及び売掛金	1,375,944	1,588,342
商品及び製品	52,932	56,846
原材料及び貯蔵品	219,214	233,762
繰延税金資産	74,846	69,387
未収入金	183,223	135,361
その他	113,543	164,852
貸倒引当金	△2,292	△2,824
流動資産合計	3,016,949	3,091,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,418,191	2,404,176
機械装置及び運搬具（純額）	470,589	489,523
工具、器具及び備品（純額）	91,759	90,171
土地	1,499,406	1,499,406
リース資産（純額）	59,564	55,061
建設仮勘定	1,975	13,653
有形固定資産合計	4,541,486	4,551,992
無形固定資産		
のれん	180,293	168,888
リース資産	6,912	6,000
その他	145,372	142,013
無形固定資産合計	332,578	316,901
投資その他の資産		
投資有価証券	107,304	83,307
関係会社出資金	4,485	2,945
長期貸付金	59,822	59,332
繰延税金資産	266,482	254,595
敷金及び保証金	1,961,305	1,959,867
その他	129,371	128,145
貸倒引当金	△92,848	△94,122
投資その他の資産合計	2,435,926	2,394,072
固定資産合計	7,309,990	7,262,966
資産合計	10,326,940	10,354,881

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	988,972	1,231,615
短期借入金	1,152,703	1,055,273
1年内返済予定の長期借入金	688,158	663,262
1年内償還予定の社債	34,960	34,960
リース債務	22,406	21,602
賞与引当金	41,375	70,109
未払金	724,778	802,995
未払費用	207,910	224,032
未払法人税等	30,813	26,723
預り金	52,841	69,331
資産除去債務	32,775	19,775
その他	109,163	66,376
流動負債合計	4,086,857	4,286,057
固定負債		
長期借入金	2,266,659	2,113,820
リース債務	46,977	42,179
繰延税金負債	18,634	18,634
再評価に係る繰延税金負債	50,196	50,196
退職給付引当金	220,320	230,476
役員退職慰労引当金	27,117	33,137
長期預り保証金	155,464	149,397
資産除去債務	82,761	82,532
その他	38	9
固定負債合計	2,868,169	2,720,384
負債合計	6,955,027	7,006,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,465,784	1,465,784
資本剰余金	1,425,506	1,425,506
利益剰余金	800,763	787,056
自己株式	△13,954	△13,954
株主資本合計	3,678,099	3,664,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,015	5,790
土地再評価差額金	△317,292	△317,292
為替換算調整勘定	△5,908	△6,098
その他の包括利益累計額合計	△309,186	△317,601
少数株主持分	2,999	1,648
純資産合計	3,371,913	3,348,439
負債純資産合計	10,326,940	10,354,881

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
売上高	3,705,752	3,879,696
売上原価	3,101,993	3,163,984
売上総利益	603,758	715,712
販売費及び一般管理費	639,005	650,455
営業利益又は営業損失（△）	△35,246	65,257
営業外収益		
受取利息	697	739
受取配当金	162	1,266
不動産賃貸料	24,149	29,666
その他	5,537	5,476
営業外収益合計	30,546	37,149
営業外費用		
支払利息	12,844	11,870
不動産賃貸費用	11,566	9,648
持分法による投資損失	2,170	1,803
その他	887	7,779
営業外費用合計	27,468	31,102
経常利益又は経常損失（△）	△32,168	71,303
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22,330
特別利益合計	—	22,330
特別損失		
固定資産廃棄損	19,100	8,122
その他	9,346	—
特別損失合計	28,447	8,122
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△60,616	85,510
法人税、住民税及び事業税	11,140	18,172
法人税等調整額	△20,614	47,018
法人税等合計	△9,473	65,191
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△51,142	20,319
少数株主損失（△）	—	△1,127
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△51,142	21,447



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△51,142	20,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,552	△8,224
為替換算調整勘定	—	△677
持分法適用会社に対する持分相当額	2,203	263
その他の包括利益合計	9,755	△8,638
四半期包括利益	△41,386	11,680
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,386	13,032
少数株主に係る四半期包括利益	—	△1,351

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	外食事業	製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,055,816	1,823,880	3,879,696	—	3,879,696
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,135	43,240	48,376	△48,376	—
計	2,060,952	1,867,121	3,928,073	△48,376	3,879,696
セグメント利益	45,297	19,960	65,257	—	65,257